

指定管理導入施設実績評価シート（令和2年度）

	施設所管課	福祉子ども部 子育て総合支援センター
施設名	木戸つどいの広場	
指定管理者	NPO法人 子育てネットワーク志賀うりぼう	
指定期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和7年 3月 31日	
指定管理料	年額 5,732,000円	（総額 28,660,000 円）
設置目的	地域の子育て支援機能の充実を図ることにより、親の子育てに関する不安感を緩和するとともに、子どもが健やかに育つことに寄与するため。	
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の家族の交流の機会及び場所の提供 ・子育てに関する相談及び講座の実施 ・子育てに関する情報の提供 ・子育てに関する事業を行う者等との連携及び調整 	

所管課 総合評価	I～IVによる総合評価	総合評価コメント
	B (良好)	感染症対策(3密回避、消毒等)を徹底し、安心してひろばを利用してもらう環境整備がなされていた。 また、利用者のニーズを捉えた事業の実施で講座参加者の満足度も高かった。 地域の子育て関係機関や子育てサークルとの連携等、木戸地域の子育て支援施設としての機能を十分果たしている。

評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由	
I 実施体制	施設の設置目的の達成 □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B (良好)	子育て支援の目的を再確認しながら、設置目的達成のために感染症対策をしながら、事業の再開に努めた。	B (良好)	地域の子育て支援施設としての設置目的にあった事業運営がされていた。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B (良好)	事業計画書に沿って適切に職員を配置している。感染症防止対策のため、例年以上に消毒作業に多くの時間を取られ、シフトもそのように対応した。1日に入るシフト数が少ないため、障がい者の雇用については、難しい状況にある。	B (良好)	事業計画書に沿った職員配置ができていた。出勤状況、勤務形態についても適正であった。
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	感染症拡大防止の観点から、講師は呼ばずに、内部研修により事業の見直し等を行った。	B (良好)	職員研修の実施や子育て支援員研修、オンライン研修を受講されていた。
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B (良好)	法令、条例順守に努めた。	B (良好)	仕様書、条例等の違反は見られず遵守されていた。
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法(実地調査)	B (良好)	協定書に基づき、適切に行っている。特に第3期には個人情報の取り扱いについてスタッフ間で再確認することができた。	B (良好)	個人情報の保管等取り扱いは適正に行われていた。
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	業務日誌は適切に整備保管している。点検結果も常時記録保管している。	B (良好)	記録簿やチェックシートで管理し、適切に保管されていた。
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	必要事項については直接電話やメール等で随時連絡しており、事業計画書、事業報告書、会計報告書等、随時提出している。	B (良好)	随時連絡調整がとられていた。事業報告書等の提出も適正であった。
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	避難経路や避難の方法についてはマニュアルに基づいて行っている。年間で2回木戸市民センターの防災訓練に参加した。	B (良好)	マニュアルは適切に整備されていた。市民センターの消防訓練に参加するなど緊急時対応の指導徹底も図られていた。
《I 総括》 業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】			B (良好)	B (良好)	B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和2年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ 内容・水準	施設管理 <input type="checkbox"/> 開館日、開館時間を遵守していたか。 <input type="checkbox"/> 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B (良好)	開館日、開館時間は順守している。安全対策については随時検討し、必要な対策を講じた。コロナ対策のため、検温とチェックシートの記入を徹底した。	B (良好)	点検・対策を行い事故防止に努めていた。感染症対策も徹底されていた。
	利用状況 <input type="checkbox"/> 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	開館時間の変更、美味しい広場の利用停止の影響で利用者が減っていたが、年度末に向けて徐々に回復傾向が見られた。	B (良好)	利用制限の影響があるが妥当な水準であった。
	利用者対応 <input type="checkbox"/> 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 <input type="checkbox"/> 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 <input type="checkbox"/> 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B (良好)	利用者が少ないため、いつも以上にスタッフから声をかけるように気をつけた。設備や備品、施設の清潔で安全な環境整備に努めた。	B (良好)	利用者への対応は丁寧で、適切に行われていた。設備、備品等は適切に提供されていた。
	業務運営(全体) <input type="checkbox"/> 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 <input type="checkbox"/> 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	感染症拡大防止の観点から、事業計画通りというわけにはいかなかったが、感染症対策を取りながら、可能な限り事業実施に努めた。	B (良好)	感染症対策を考慮しつつ、できる範囲で事業を推進されていた。
	自主事業運営 <input type="checkbox"/> 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 <input type="checkbox"/> 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 <input type="checkbox"/> 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 <input type="checkbox"/> 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B (良好)	自主事業計画書に則って、感染症対策を講じながら、形を変えながらすべて実施した。利用者のニーズに沿った運営に努めた。	B (良好)	当初の予定通りとはいえないが、感染拡大予防に配慮しながら事業を工夫し実施されていた。
	維持管理 <input type="checkbox"/> 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 <input type="checkbox"/> 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 <input type="checkbox"/> 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 <input type="checkbox"/> 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 <input type="checkbox"/> 植栽、樹木等の維持管理を定期的に行い、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	評価項目についてはすべて実施できている。特に感染症拡大防止対策として、日常の消毒ができない備品については撤去し、対応可能なものは天日で中2日干してから出す等の、感染防止対策に努めた。鉢植えについては定期的に水やりをする等、管理に努めている。	B (良好)	施設、設備の点検や清掃は定期的に行われていた。簡易な修繕については、すぐに対処されていた。備品や施設の消毒についても徹底されていた。
	情報提供 <input type="checkbox"/> 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 <input type="checkbox"/> ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	通信、HP、LINE公式アカウントによる情報発信を行っている。HPのブログのコーナーで、ひろばの様子を配信した。	B (良好)	通信紙の発行やHP、LINEにより十分に情報発信がなされていた。
	環境配慮 <input type="checkbox"/> 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	古紙回収、シュレッダーゴミの回収等、資源回収には積極的に参加している。	B (良好)	古紙回収や不用品のリサイクル推進に努めていた。
	意見・要望・苦情 <input type="checkbox"/> 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 <input type="checkbox"/> 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	意見箱を設置したり、ひろばでの利用者の声を大事にしている。また、意見箱にいただいた意見については、ひろばの掲示板で返答するようにした。	B (良好)	利用者からの意見や要望に迅速に対応、返答はひろばの掲示板に掲示されていた。
	利用者アンケート <input type="checkbox"/> 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B (良好)	10月に利用者アンケートを実施し、その集計結果に基づいて、対応について考えた。実現できるところから改善を試みている。	B (良好)	利用者アンケートを実施し、結果を職員間で共有し、事業運営に反映されていた。
《Ⅱ総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準10項目／当施設10項目】			B (良好)		B (良好)	
Ⅲ 収支等	経理事務 <input type="checkbox"/> 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 <input type="checkbox"/> 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 <input type="checkbox"/> 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査(金庫等)	B (良好)	経理事務は適切に行っている。日々の会計処理は迅速に行われている。専用口座、帳簿等も備え、経理事務は適切に行っている。	B (良好)	専用口座、帳簿を備え、適切に経理事務が行われていた。
	収支状況 <input type="checkbox"/> 予算と決算に大幅な相違がなく、収入-支出はプラスとなっているか。 <input type="checkbox"/> 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	ほぼ計画通り、運営できた。開館時間が減ったこと、修理費に経費がかからなかったことが赤字改善につながった。	B (良好)	収支状況は妥当な水準であった。
	経費節減の取組 <input type="checkbox"/> 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 <input type="checkbox"/> 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B (良好)	経費削減に向け、シフトの見直しを行う予定であったが、今年度は通常業務と異なるため、これ以上の削減は難しいと判断した。清掃用布を各自で持ち寄る等、無駄な出費を減らした。	B (良好)	感染症対策による支出はあったが、工夫され経費節減に取り組まれていた。
	《Ⅲ総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設3項目】			B (良好)		B (良好)
自Ⅳ その他 (一) 独	その他 <input type="checkbox"/> 努力事項として掲げた利用者増のための取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	コロナ感染症拡大防止の観点から、積極的な利用者増の取り組みはできなかったが、申し込み状況の少ない催しについてはLINEでお知らせした。	B (良好)	感染症にかかる安全面から利用者増の推進は難しいところであるが、利用者を増やす工夫がされていた。
	《Ⅳ総括》 その他に関する評価【当施設1項目】			B (良好)		B (良好)

指定管理導入施設実績評価シート（令和2年度）

主な成果 (全体)	利用者数	目標	5,000 人	⇒	実績	5,342 人
	講座開催数	目標	70 回	⇒	実績	53 回
	講座参加人数	目標	700 人	⇒	実績	651 人
	【指定管理者コメント】					
<p>今年度はコロナ感染症の拡大防止に伴う休館措置もあって、いつもとは違う形のスタートになった。スタッフも三密を避けるため、リモートでの会議やLINEでのやりとりの中で感染症対策を進めてきた。休館中でも出来る限りの支援をしたいという思いから、毎日のブログ更新や、メールやLINEでの相談等、電話以外での利用者支援を始めたが、通常から取り組んでいなかった分野なので、期待していたほどの広がりは見られなかったものの、参加者からは好評だった。今後の社会状況を踏まえて、リモートでの支援は必要不可欠だと考えており、今後も積極的に検討していきたい。施設や備品の消毒については、出来る限りの対策を講じ、消毒できる手作りおもちゃを作る等、低予算で最大限できる対応をした。ひろばの利用者は年々低年齢化していくので、赤ちゃん対象の事業をさらに増やす方向で検討する必要があると思う。また、赤ちゃんの利用増に伴って、赤ちゃん用のおもちゃセットを用意する等の工夫を試みた。利用者の避難訓練が企画できなかったのも、来年度はふわふわファミリーのつどいを入れることで実施したい。尚、車利用以外の利用者の方が安心してこられるように、乗り合いタクシー「光ルくん号」の利用案内等、情報の提供についても検討したい。</p>						
【施設所管課コメント】						
<p>コロナ禍にあって利用者数の目標は昨年度より少なく設定しているが、目標人数は達しており妥当な水準であった。講座の開催についても、感染症の影響で難しいところであったが、オンラインを使った事業の試みなど、新たな手法に取り組むなど工夫されていた。</p>						

自主事業 実施による 成果	<主な自主事業の実施状況>				
	事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況 (実施・追加・未実施)	特記事項(「未実施」の場合はその理由)
	ぴよっこ	指定自主事業	0歳児の保護者対象のおしゃべり会	実施	7月から再開。毎月第1, 2, 4水曜日に実施。5月6月はオンラインで(ZOOM使用)ぴよっこを実施。
	こけっこ	指定自主事業	1, 2歳児の保護者対象のおしゃべり会	実施	9月から再開。毎月第3水曜日に実施。
	ふわふわファミリーのつどい	指定自主事業	親子で楽しむイベントと、お誕生日会	実施	9月から再開。毎月1回実施。木戸公民館との共催。
	夏祭りWEEK	自主事業	にじっこに巨大釣り堀が出現。みんなで魚釣り体験。	実施	8月2日～21日まで学び愛広場に設置。
	マンマ	指定自主事業	離乳食講座。DVDを使用して離乳食の悩みにこたえる。	実施	10月より毎月1回実施。
	【指定管理者コメント】				
<p>緊急を要すると感じられた相談者のために、再開直後の2か月間はZOOMアプリを使ったぴよっこ(赤ちゃんのママのおしゃべり会)を実施したが、オンラインのハードルは予想外に高く、7月に再開したぴよっこには8組の方が参加されていて、対面でのおしゃべりの場の方が必要とされていることがわかった。「夏祭りWEEK」は中止も検討したが、毎年好評だった「迷路」をやめて、学び愛広場でソーシャルディスタンスを取りながら実施できる「巨大釣り堀」で実施した。おおむね好評だったが、コロナ感染症の不安感がまだ大きい時だったので、参加者数は予想を下回った。9月からはふわふわファミリーのつどいを再開したが、こちらは初回から参加者が多かった。11月も定員を上回る参加者数になったため、12月のイベントは2部制に変更、1月からは予約制にすることにした。マンマ(離乳食講座)は10月から再開した。オリジナル動画で作り方を紹介し、困っていることについて話し合う形で始めたが、離乳食について悩んでいる人は多く、こちらも好評だった。「ぴよっこ」は今年度当初に計画していたことが10月からようやく実施でき、10月、1月は和邇すこやか相談所の保健師さん、11月、2月は抱っこの先生、12月3月は骨盤ケアの先生に来ていただいたが、いずれも参加者は多かったのも、今後も実施方法を工夫しながら続けていきたい。</p>					
【施設所管課コメント】					
<p>今年度の事業は感染症の状況をみながら、安全に配慮しつつの講座再開であった。利用者のニーズや低年齢化の状況を反映し事業を工夫されており、事業の満足度が高いことも評価する。公民館と連携しての自主事業も参加者が多く、市民サービスの向上に繋がった。</p>					

課題及び 課題解決 の結果	【指定管理者コメント】
	<p>課題に挙げていた、利用者増のための取り組みであるが、0歳児とその保護者の利用の割合が高くなってきていることから、特にぴよっこにおいて、0歳児の保護者の課題に対応した講師の先生に来ていただくなど、新しい取り組みを取り入れた。ただ、コロナ感染症拡大防止の観点から、定数以上の利用についてはお断りすることにしたため、公民館を借りて実施したり、予約制にする等以外の対応を取ることが出来なかった。現状において利用者増を促進することは難しいと考えている。</p>
	【施設所管課コメント】
	<p>今年度はコロナ禍において利用者安心してひろばに来てもらう環境の整備、事業の運営が必要であった。来場者数、講座参加者数は昨年度に比べ減ってはいるが、利用者を増やす工夫をされ、利用者の満足度は高く、質の良いひろば運営がなされていた。経費面では感染症対策にかかる支出が増加したが、限られた予算の中で経費節減を工夫され予算内での執行となった。</p>

特記事項等	なし
--------------	----

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A～D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

指定管理者自己評価

➡

所管課評価

➡

指定管理者

➡

行政改革推進課(ホームページ等により結果公表)

送付